

浪江町復興計画【第三次】の理念と理念の柱の案について

1 理念の案について

夢と希望があふれ 住んでいたいまち 住んでみたいまち … 主題：目指す方向

～なかよく みんな えがお の花咲くまち なみえ～ … 副題：取組の結果

委員名	委員からの意見（キーワード・フレーズ）	文言に込められたイメージ	理念の文言
佐藤(秀)委員	・憧れるまち、誇れるふるさと	震災により、全国の他自治体よりも厳しい状況であるからこそ、精神的な充実、豊かさに言及しました。	夢と希望があふれ
石井委員	・新しい浪江町		
大波委員	・子孫が目を向けてくれる浪江町		
牧野委員	・“浪江育ち”が子供たちのプライドになる町		

大波委員	・子々孫々まで引き継がれるふるさと	町が復旧、復興することで、現在住んでいる方が満足するまち、これから帰還する方にも満足してもらえるまち、今は帰りたくても帰れない方にも、復興した姿を見て安心してもらえるまちとなることを表現しました。	住んでいたいまち
佐々木委員	・危険なところは避けて、安定した地域に居住していただく仕組み		
佐藤(幹)委員	・子・孫の世代まで長く働ける企業		
清水委員	・10年後も町に住んでいる人、働いている人、浪江に関わる方たちが生き生きと生活していただけるまち		
	・浪江町に来て仕事に就いて良かった、浪江に戻ってきて良かったと将来思える		
前司委員	・町の動線をきれいに作っていただきたい。		
牧野委員	・今の魅力を失うことなく、“ゆっくりと”将来の復興に向かうことを期待		

佐藤(秀)委員	・住む人、訪れる人に気遣い・気配りのできるまち ・気遣いができ、憧れる、僻まれるようなまち	新しい取組へのチャレンジ、交流人口・関係人口の拡大など、町の魅力を高め、広めることで、新規住民が増えるまちになることを表現しました。	住んでみたいまち
和泉委員	・浪江町に移住定住する若者を増やす		
佐々木委員	・この地に新たな人材を受けよう ・浪江町に日本全国、世界から入ってくるような環境をつくる		
新谷委員	・誘致した企業をアピールし、色々な人に来ていただく		
前司委員	・出産に対してのメリット		
牧野委員	・ヒトと気候が穏やかで暮らしやすい、外から来る人にも寛容な風土 ・外から来たヒトも暮らしやすいまち		
	・子育ての支援が充実している		

佐藤(秀)委員	・住む人、訪れる人に気遣い・気配りのできるまち ・名前と呼べるようなまち	H17 策定の第四次浪江町長期総合計画後期基本計画から続くキャッチフレーズ。一文字目を繋げると、「なみえ」となります。 リバーラインの桜、紅房桜、トルコギキョウなど、町の花の活動と笑顔をかけました。	なかよく みんな えがお の花咲くまち
牧野委員	・ヒトと気候が穏やかで暮らしやすい、外から来る人にも寛容な風土 ・高齢になっても安心して暮らせる		
山田委員	・健康で元気な町		

2 理念の柱の案について

- (1) みんなの想いを一つに、復興を実現するまち
- (2) ひとの縁を大切に、関わる人が増えて調和するまち
- (3) 先進的な取組で、夢と希望の未来を創るまち

(1) みんなの想いを一つに、復興を実現するまち

委員名	委員からの意見（キーワード）	文言に込められたイメージ
石井委員	・農業を再生	<p>まちの復興を想う様々な立場の人達の力を合わせて、復興を実現させていくことを明確に表現しています。</p> <p>【町内全域の復旧・復興】 【被災から得た教訓を生かす・継承する】</p> <p>町が基金を制定し管理をしている「紅房桜」の花言葉、「想いを託します」にかけて柱の案を作成しました。</p>
	・町内産の農産物を加工し商品化できる環境整備	
大波委員	・安心安全で生活できる自然環境を取り戻す	
佐々木委員	・解体をして空いた土地をどう使うかを地域で検討する	
	・原発避難を伝えていく	
	・今までの歴史文化を現場で説明できる方を多く募り、次の世代へ繋いでいく	
佐藤(幹)委員	・語り部を作っていくことが必要	
	・小中学生の増加、地元高校の復活	
	・農業については、共同出荷調整設備等の充実	
鈴木委員	・医療・介護施設の充実	
	・浪江町が再建団体に入ることなく、町民のための行政運営を継続	
鈴木委員	・訪問診療ができる医療体制の構築	
牧野委員	・今の魅力を失うことなく、“ゆっくりと”将来の復興に向かうことを期待	

(2) ひとの縁を大切に、関わる人が増えて調和するまち

委員名	委員からの意見（キーワード）	文言に込められたイメージ
佐藤（秀）	・余所者と馬鹿者はたくさんいるので、あとは若者が集まってくれば地域おこしは可能	<p>居住者、転入者、二地域居住、避難先からの一時帰宅、作業員等の一時滞在者、来訪者など、まちに関わる方々の調和を表現しています。</p> <p>【町民同士の絆づくり・絆の維持】 【交流人口、関係人口の拡大】【移住・定住の推進】</p> <p>町の花である「コスモス」の花言葉、「調和」にかけて柱の案を作成しました。</p>
石井委員	・復興を応援してくれる人が全国にいる	
和泉委員	・浪江町に移住定住する若者を増やす	
	・農業をやってみたい若者と農業後継者を探している方々が一緒に働く	
佐々木委員	・地域おこし協力隊の制度を使う	
	・帰還した人、帰還できない人、新しく入ってくる人に同じ情報を共有する	
佐藤（幹）委員	・小中学生の増加、地元高校の復活	
	・せめてお盆、正月、他のイベント等には、町民の皆さまが数多く集まるまち	
新谷委員	・近隣町村のアーカイブ施設等との連携により、来訪者を増やし、浪江町をアピール	
	・自然と共生した交流の盛んな学園都市	
末永委員	・別荘感覚でもいいので、気軽に来られるような環境づくり	
	・移住できるような環境づくり、体制づくり	
	・元の状態に戻すには移住者が必要	
前司委員	・人口は1万人を目指す、最低でも5千人は超えてもらいたい	
	・町づくり団体への支援	
山田委員	・健康スポーツや、まちの魅力発信にかかわるコンテンツの一本化	

(3) 先進的な取組で、夢と希望の未来を創るまち

委員名	委員からの意見（キーワード）	文言に込められたイメージ
石井委員	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい浪江町 	水素製造施設、ドローンの滑走路、自動運転などの先進的な取組への挑戦を表現しています。 【ゼロカーボンシティの実現】 【イノベーションによる社会課題の解決・産業創出】 震災後町内で栽培が広まっている「トルコギキョウ」の花言葉、「希望」にかけて柱の案を作成しました。
新谷委員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境に優しいエネルギーに関連するものを誘致し、町を変えていく方向性を示す 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・誘致した企業をアピールし、色々な人に来ていただく ・建築資材では木材が鉄よりも二酸化炭素の排出が少ないため、地球温暖化防止につながる 	
前司委員	<ul style="list-style-type: none"> ・最先端技術を取り込んでいくと若者にも目につきやすいため、この町に来たくなる 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の社会問題やSDGs などへ取り組む 	